文部科学省

平成27年度 全国学力・学習状況調査

本調査は，文部科学省が，学校の設置管理者等（教育委員会，学校法人等）の協力を得て実施するものです。

調査実施日：4月21日(火)

調査の目的

◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図る

◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる

◇そのような取組を通じて，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象

国・公・私立学校の小学校第６学年，中学校第３学年　原則として全児童生徒

調査内容

①教科に関する調査（国語，算数・数学，理科）

主として「知識」に関する問題(A)	主として「活用」に関する問題(B)
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 など

※理科については，主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語の勉強は好きですか，授業の内容はどの程度分かりますか，一日にテレビを見る時間，携帯電話等の使用時間，読書時間，勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組，指導方法の工夫，教育の情報化，教員研修，家庭・地域との連携の状況　など

時間割

◎小学校（児童質問紙は，４時限目終了後以降に，各学校の状況に応じて実施。）

1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	
国語A（20分），算数A（20分）	国語B（40分）	算数B（40分）	理科（40分）	児童質問紙（20分程度）

◎中学校（生徒質問紙は，５時限目終了後以降に，各学校の状況に応じて実施。）

1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目	
国語A（45分）	国語B（45分）	数学A（45分）	数学B（45分）	理科（45分）	生徒質問紙（20分程度）

（参照：文部科学省HP）http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/index.htm

問題例：過去の全国学力・学習状況調査より

全問題については，（http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html）を参照。

小学校・国語A（平成26年度）　新聞の投書を読む

4　新聞には、読者からの投書（自分の意見や希望などを書いて送ること。また、その文章。）がのせられているものがあります。次の【投書】の書き手は、自分の意見や希望などをどのように書いていますか。その説明として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【投書】

命の大切さは同じ

小学生　西田夏子（○○市　12才）

先日、近くの公園へ遊びに行ったとき、ねこの鳴き声が聞こえてきました。鳴き声のする方へ近づくと、小さな箱がありました。その中にねこがいました。そのねこには、ふるえていました。それを見て、わたしはかわいそうでたまらなくなりました。

ねこは、すてられたのでしょうか。もしすてられたのであれば、飼い主の人は、どうしてすてたのでしょうか。ねこは小さな生き物ですが、命の大切さはわたしたち人間と同じだと思います。

これは、ねこに限ったことではありません。動物を飼う人には、その動物の命の大切さをきちんと理解して飼ってほしいと思います。

1　複数の情報を比べ、内容のちがいに注目して書いている。

2　昔から伝わることわざや、言い伝えを引用して書いている。

3　自分の考えに反対する具体的な意見を取り上げて書いている。

4　自分が実際に体験したことをもとにして書いている。

出題の趣旨

新聞の投書を読み，表現の仕方を捉えることができるかどうかをみる。

正答

4

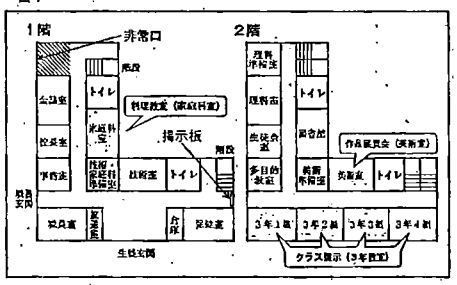
（正答率　71.9%）

中学校・数学B（平成26年度）　事象の図形的な考察と問題解決の方法（文化祭の準備）

1　第一中学校では文化祭の準備をしています。実行委員の健太さんは，来客用のはり紙やパンフレットを作ったり，校舎に横断幕を取りつけたりします。

図1は校舎の1階と2階の案内図です。

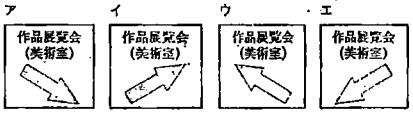
図1



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

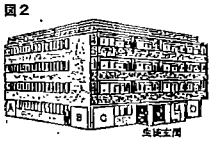
(1)　図1の掲示板に，美術室への経路を示すはり紙を掲示します。そのはり紙が，下のアからエまでの中にあります。正しいものを1つ選びなさい。

ア　イ　ウ　エ



(2)　文化祭のパンフレットに，外から校舎を見た図2を使います。図1で示した非常口の位置が，図2のA，B，C，Dの中にあります。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

図2



ア　Aの位置　　イ　Bの位置

ウ　Cの位置　　エ　Dの位置

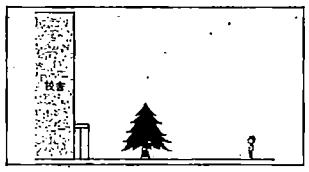
(3)　図3のように，校舎に「一中文化祭」の横断幕を取りつけます。健太さんは，校門の位置に立って見たときに，図4のように横断幕が木にまったく隠れない高さで，最も低い位置に取りつけたいと思いました。そこで，図5のように，校門の位置に立っている健太さんと木と校舎を真横から見た図をかいて，木に隠れない横断幕の位置を考えることにしました。

横断幕が木にまったく隠れない最も低い位置を求める方法を言葉で説明しなさい。解答用紙の図を使って説明してもかまいません。

図3

図4

図5



出題の趣旨

与えられた情報を読み，次のことができるかどうかをみる。

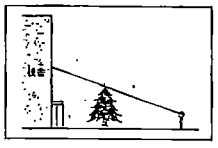
・事象を図形に着目して観察すること

・必要な情報を適切に選択すること

・事象を理想化・単純化して，その特徴を的確に捉えること

・数学的な結果を事象に即して解釈し，問題解決の方法を数学的に説明すること

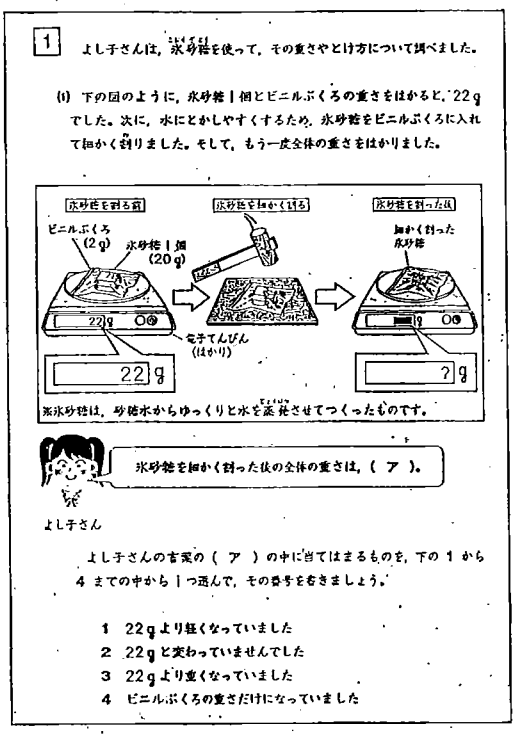
正答

(1)	ウ
(2)	ア
(3)	（正答例） 

健太さんの目と木の先端の2点で決まる直線をひき，その直線と校舎を表す線分との交点を求め，その位置に横断幕の下端が一致するように取りつければよい。

（正答率　(1) 77.4%，(2) 93.0%，(3) 61.3%）

小学校・理科（平成24年度）「質量保存」の問題



1　よし子さんは，氷砂糖を使って，その重さやとけ方について調べました。

(1) 下の図のように，氷砂糖1個とビニルぶくろの重さをはかると，22gでした。次に，水にとかしやすくするため，氷砂糖をビニルぶくろに入れて細かく割りました。そして，もう一度全体の重さをはかりました。

※氷砂糖は，砂糖水からゆっくりと水を蒸発させてつくったものです。

よし子さん

氷砂糖を細かく割った後の全体の重さは，（ ア ）。

よし子さんの言葉の（ ア ）の中に当てはまるものを，下の1から4までの中から1つ選んで，その番号を書きましょう。

1　22gより軽くなっていました
2　22gと変わっていませんでした
3　22gより重くなっていました
4　ビニルぶくろの重さだけになっていました

●出題の趣旨

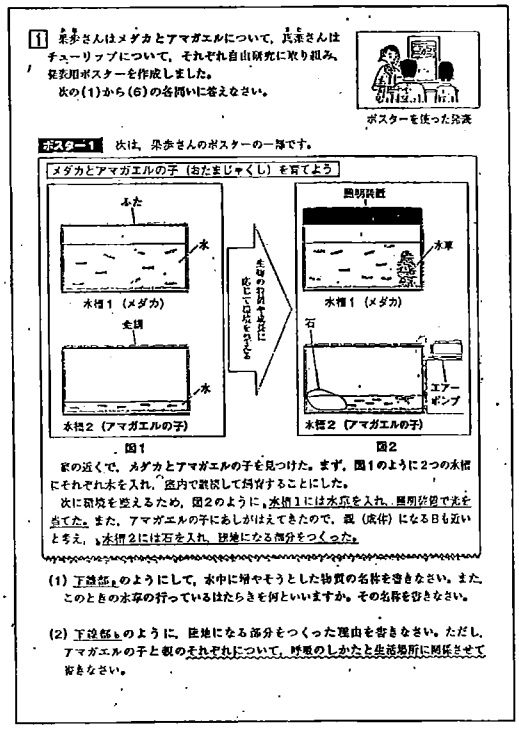
物は，形が変わっても重さは変わらないことを理解しているかどうかをみる。

●正答

2

（正答率　85.9%）

中学校・理科（平成24年度）メダカとアマガエル



1　栄歩さんはメダカとアマガエルについて，真実さんはチューリップについて，それぞれ自由研究に取り組み，発表用ポスターを作成しました。
次の(1)から(6)の各問いに答えなさい。

ポスターを使った発表

ポスター1　次は，栄歩さんのポスターの一部です。

メダカとアマガエルの子（おたまじゃくし）を育てよう

図1　図2

家の近くで，メダカとアマガエルの子を見つけた。まず，図1のように2つの水槽にそれぞれ水を入れ，室内で観察して飼育することにした。
次に飼育を整えるため，図2のように，水槽1には水草を入れ，蛍光灯で光を当てた。また，アマガエルの子にあしがはえてきたので，親（成体）になるBも近いと考え，水槽2には石を入れ，陸地になる部分をつくった。

(1) 下線部aのようにして，水中に増やそうとした物質の名称を書きなさい。また，このときの水草の行っているはたらきを何といいますか。その名称を書きなさい。

(2) 下線部bのように，陸地になる部分をつくった理由を書きなさい。ただし，アマガエルの子と親のそれぞれについて，呼吸のしかたと生活場所に関係させて書きなさい。

●出題の趣旨

(1) 魚類の呼吸と水草の光合成を理解しているかどうかをみる。

(2) 動物を飼育する場面において，両生類の子と親の体のつくりと働きや生活場所に関する知識を活用して，カエルの特徴や成長に応じて飼育の環境を整えた理由を説明することができるかどうかをみる。

●正答

(1)	物質の名称：酸素 水草のはたらきの名称：光合成
(2)	(正答例) アマガエルの子はえら呼吸をして水中で生活するが，アマガエルの親は肺呼吸をして〔主に〕陸上で生活するから。

（正答率　(1) 56.8%，(2) 38.5%）

調査結果等の集計・分析・提供

集計・分析

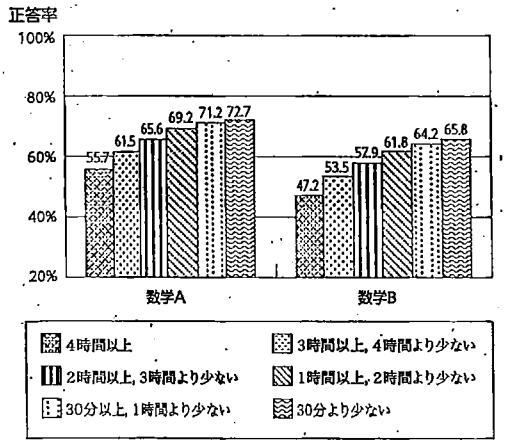
◇国全体，各都道府県，地域の規模等における調査結果を公表

◇児童生徒の学習環境や生活習慣，学校における指導や教育条件の整備状況等と学力の相関関係を分析，公表

▼公表する調査結果の例

◇普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

（平成26年度調査：中学校）

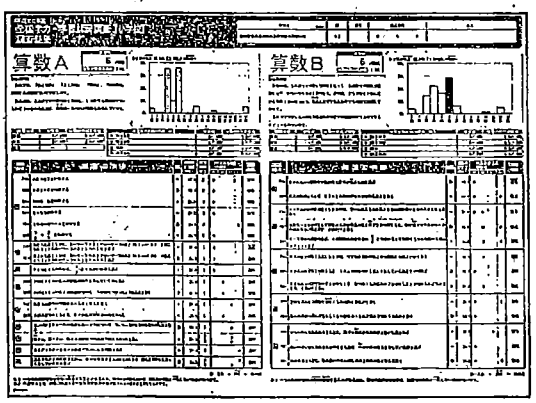


提供

◇各教育委員会，学校に以下の調査結果を提供

- 児童生徒の正答数分布図
- 設問別正答率・無解答率，類型別解答状況
- 質問紙調査の結果
- 各児童生徒に提供する「個人票」　など

▼「個人票」のイメージ



調査結果の活用

把握
全国的な児童生徒の
学力や学習状況の把握

改善
教育及び教育施策の
改善に結びつける

義務教育における
検証改善サイクルの確立

検証
調査結果を分析し，
教育の成果と
課題などを検証する

国	教育の改善に向けた全国的な取組を推進	(例)学習指導要領の改訂，各種施策の検証・改善，教員の配置等への支援，教育委員会や学校における改善の取組への支援　など
教育委員会	域内の教育の改善に向けた取組を推進	(例)教員の配置等の工夫，教員研修の充実，教育指導等の改善のための資料の作成，保護者や地域と連携した取組　など
学校	教育指導等の改善に向けた取組を推進	(例)明らかになった課題を踏まえた授業改善の取組，校内研修の充実；家庭における学習習慣や生活習慣の確立に関する保護者への働きかけ，地域のボランティア等の協力による放課後等における補充学習の実施　など

◎全国学力・学習状況調査を活用するための参考資料等

授 授業アイディア例

各学校において，今後の教育指導や児童生徒の学習状況の改善等に活用できるようにするため，全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて，授業の改善・充実を図る際の参考となるよう授業のアイディアの一例を示すもの。

成 全国学力・学習状況調査の４年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ

平成 19～22 年度の全国学力・学習状況調査の結果を分析し，とりまとめた資料。

(概要)

- 各教科の領域等ごとに，児童生徒の「成果」と「課題」を整理
- 特に「課題」については，児童生徒一人一人の学習内容の着実な定着を目指して，その解決に向けた詳細な分析を行い，学習指導の改善・充実の参考となるポイント等を記載

特 全国学力・学習状況調査において特徴ある結果を示した学校における取組事例集

全国学力・学習状況調査において，無解答率が低いなどの特徴ある結果を示した学校が，その結果に寄与したと考えている取組をとりまとめた事例集。

報 全国学力・学習状況調査の結果を活用した実践研究の成果報告書

調査結果から明らかになった課題に対して，教育委員会，学校等が連携しながら学校の教育活動等の改善に取り組んだ実践研究の概略等を掲載した報告書。

分 全国学力・学習状況調査の結果を用いた追加分析

国や教育委員会，学校等の教育活動や，教育施策の一層の改善を図るため，大学等の研究機関の専門的な知見を活用し，高度な分析・検証を行った調査研究の報告書。

(分析例)

- 家庭状況と学力の関係や不利な環境にあるにも関わらず，比較的良好な結果を示した学校の特徴等
- 習熟度別少人数指導の効果について分析
- 学力層に着目した指導方法等に関する分析

これらの資料は，国立教育政策研究所 HP
http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html
に掲載されています。

平成２７年度　野田市学習到達度調査実施計画

野田市教育委員会学校教育部指導課

１　目　的

野田市内の児童生徒が、算数・数学の学習指導要領に基づく教育課程の中で身に付けることが求められている知識や能力について、どの程度身に付いているのかを把握分析することで、土曜授業等の野田市の教育施策の効果を検証するとともに、市内小中学校の指導改善や児童生徒の学習に役立てていく。

２　調査委託先　　株式会社ベネッセコーポレーション

３　実施回数及び時期　　年２回　　第１回　平成２７年４月
第２回　平成２８年１月ごろ

４　調査対象学年及び教科

（１）対象学年　　第１回　小学校４・５年生及び中学校１・２年生
第２回　小学校４・５・６年生及び中学校１・２年生

（２）対象教科　　小学校　算数（４０分）
中学校　数学（４５分）

５　調査実施方法

（１）実施体制　　問題作成・印刷・配付・採点・分析に至るまで、教育委員会が業者に委託する。

（２）運営方法　　教育委員会より送付される「野田市学習到達度調査の運営について」及び業者より送付される「調査監督の手引き」「取りまとめの手引き」「受験票についてのご案内」等により、実施する。

（３）検査結果　　児童生徒には個票を配付し、自分の課題について把握した上で、それ以降の学習活動を通して克服できるようにする。学校は、指導の成果と課題を把握し、今後の教育課程編成や指導に役立てていく。教育委員会は市全体の児童生徒の傾向を把握し、各学校の実態を踏まえながら、市の教育施策を検証する一助とする。

６　その他

本調査は、野田市個人情報保護条例及び同施行規則における個人情報に該当するため、その適正な維持管理・保護に努めるものとする。

〈平成２７年度新規採用教職員・市内転入教職員研修会〉

１　日　時　　平成２７年４月１７日（金）　１４：００～　１６：３０

２　場　所　　野田市役所８階　大会議室

３　日　程

（１）開式の言葉　　１４：００

（２）学校教育部長講話

（３）講師紹介

（４）講義１　　１４：３０
「この街でずっと暮らしていきたい」
講師：「手をつなぐ親の会」キャラバン隊
まめっ娘係　責任者　名代　ちよ子　様

（５）講義２　　１５：２０
博物館利用案内「学校と博物館で何ができるかな？」
講師：野田市学芸員　大貫　洋介　様　田尻　美和子 様

（６）講義３　　１６・０５
・野田市の指導施策について　　学校教育部次長兼指導課長
・野田市の教職員配置等について　　学校教育課長

（７）閉式の言葉　　１６：２０

平成２７年度　第６６回　野田市小中学校陸上競技大会

１　日時　　中学校・・平成２７年６月　３日（水）　９：００～
【予備日　４日（木）　５日（金）】
小学校・・平成２７年６月１０日（水）　９：００～
【予備日　１１日（木）１２日（金）】

２　場所　　野田市総合公園陸上競技場

３　主催　　野田市教育委員会

４　種目

小　学　校	中　学　校
①１００ｍ（男女）	①１年　１００ｍ（男女）
②J・１００ｍ（男女）	②２年　１００ｍ（男女）
③８０mH（男女）	③３年　１００ｍ（男女）
④８００ｍ（女子）	④共通　２００ｍ（男女）
⑤１０００ｍ（男子）	⑤共通　４００ｍ（男子）
⑥走り幅跳び（男女）	⑥共通　８００ｍ（男女）
⑦走り高跳び（男女）	⑦１年　１５００ｍ（男子）
⑧ボールスロー（男女）	⑧共通　１５００ｍ（男女）
⑨J・４×１００mR（男女）	⑨共通　３０００ｍ（男子）
⑩４×１００mR（男女）	⑩共通　１１０mH（男子）
	⑪共通　１００mH（女子）
	⑫共通　４×１００mR（男女）
	⑬共通　走り高跳び（男女）
	⑭１年　走り幅跳び（男女）
	⑮共通　走り幅跳び（男女）
	⑯共通　砲丸投げ（男女）

５　平成２６年度（６５回大会）の結果
（１）学校対抗の部

	小学校	中学校
男子	野田中央小	南部中
女子	野田南部小	南部中
総合	野田中央小	南部中

（２）大会新記録
＜中学校＞
男子２年１００ｍ　第一中　佐藤龍馬（２年）１１秒６９
共通４×１００ｍＲ　南部中　男子　４５秒２９
女子共通１５００ｍ　第一中　大上純奈（３年）４分４１秒４６